

令和4年度 第2四半期地域経済動向調査

(令和4年7月～9月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査 (新温泉町商工会)

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査 (全国商工会連合会)

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査 (豊岡公共職業安定所)

<https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo->

roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/_121984_00008.html

④業種別業況判断

但馬の経済指標 (兵庫県但馬県民局)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

① 会員アンケート調査

調査依頼 100 企業

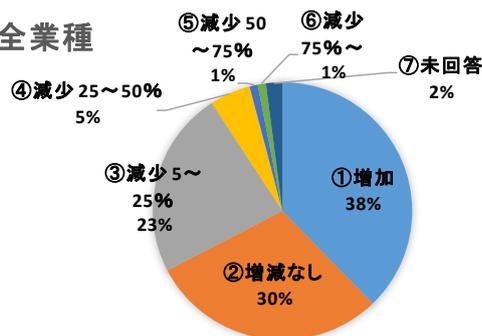
回答 98 企業 (回答率 98%)

1. 売上状況

(令和3年7月～9月)と(令和4年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①増加	37	37.8%
②増減なし	29	29.6%
③減少 5～25%	23	23.5%
④減少 25～50%	5	5.1%
⑤減少 50～75%	1	1.0%
⑥減少 75%～	1	1.0%
⑦未回答	2	2.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①増加	4	25.0%
②増減なし	8	50.0%
③減少 5～25%	4	25.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①増加	5	41.7%
②増減なし	2	16.7%
③減少 5～25%	3	25.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	1	8.3%
⑥減少 75%～	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①増加	2	40.0%
②増減なし	1	20.0%
③減少 5～25%	2	40.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①増加	7	31.8%
②増減なし	6	27.3%
③減少 5～25%	7	31.8%
④減少 25～50%	1	4.5%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	1	4.5%
総計	22	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①増加	6	54.5%
②増減なし	3	27.3%
③減少 5～25%	1	9.1%
④減少 25～50%	1	9.1%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①増加	6	54.5%
②増減なし	1	9.1%
③減少 5～25%	2	18.2%
④減少 25～50%	2	18.2%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①増加	7	35.0%
②増減なし	7	35.0%
③減少 5～25%	4	20.0%
④減少 25～50%	1	5.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	1	5.0%
総計	20	100.0%

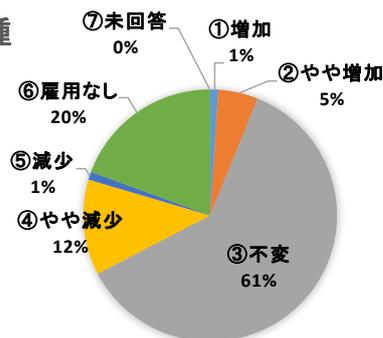
農業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②増減なし	1	100.0%
③減少 5～25%	0	0.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

2.雇用状況

(令和4年6月30日)と(令和4年9月30日)の比較

全業種		
9月30日	件数	構成比
①増加	1	1.0%
②やや増加	5	5.1%
③不変	60	61.2%
④やや減少	12	12.2%
⑤減少	1	1.0%
⑥雇用なし	19	19.4%
⑦未回答	0	0.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	13	81.3%
④やや減少	2	12.5%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	1	6.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	8.3%
③不変	9	75.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	1	8.3%
⑥雇用なし	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	3	60.0%
④やや減少	1	20.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	1	20.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	4.5%
③不変	10	45.5%
④やや減少	5	22.7%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	6	27.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	10	90.9%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①増加	1	9.1%
②やや増加	1	9.1%
③不変	5	45.5%
④やや減少	2	18.2%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	2	18.2%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	5.0%
③不変	10	50.0%
④やや減少	2	10.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	7	35.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

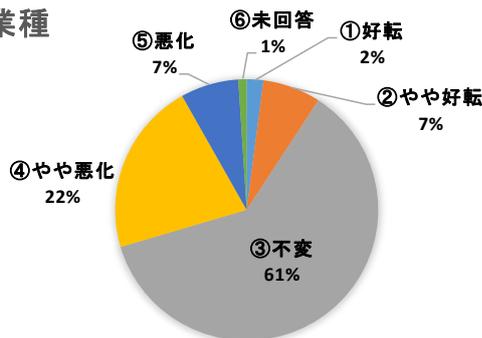
農業		
9月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

3.資金繰り状況

(令和4年6月30日)と(令和4年9月30日)の比較

全業種		
9月30日	件数	構成比
①好転	2	2.0%
②やや好転	7	7.1%
③不変	60	61.2%
④やや悪化	21	21.4%
⑤悪化	7	7.1%
⑥未回答	1	1.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	6.3%
③不変	10	62.5%
④やや悪化	5	31.3%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	8.3%
③不変	7	58.3%
④やや悪化	2	16.7%
⑤悪化	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	4	80.0%
④やや悪化	1	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①好転	1	4.5%
②やや好転	2	9.1%
③不変	10	45.5%
④やや悪化	7	31.8%
⑤悪化	1	4.5%
⑥未回答	1	4.5%
総計	22	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	9.1%
③不変	8	72.7%
④やや悪化	1	9.1%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	7	63.6%
④やや悪化	2	18.2%
⑤悪化	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
9月30日	件数	構成比
①好転	1	5.0%
②やや好転	2	10.0%
③不変	13	65.0%
④やや悪化	3	15.0%
⑤悪化	1	5.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

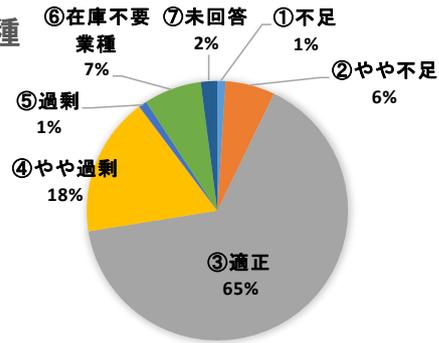
農業		
9月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況

(令和4年9月30日現在)

全業種		
9月30日	件数	構成比
①不足	1	1.0%
②やや不足	6	6.1%
③適正	64	65.3%
④やや過剰	17	17.3%
⑤過剰	1	1.0%
⑥在庫不要業種	7	7.1%
⑦未回答	2	2.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	12.5%
③適正	11	68.8%
④やや過剰	2	12.5%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	6.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
9月30日	件数	構成比
①不足	1	8.3%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	66.7%
④やや過剰	2	16.7%
⑤過剰	1	8.3%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	2	40.0%
④やや過剰	3	60.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	9.1%
③適正	12	54.5%
④やや過剰	6	27.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	2	9.1%
総計	22	100.0%

飲食業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	72.7%
④やや過剰	2	18.2%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	72.7%
④やや過剰	1	9.1%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	2	18.2%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	5.0%
③適正	15	75.0%
④やや過剰	1	5.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	3	15.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

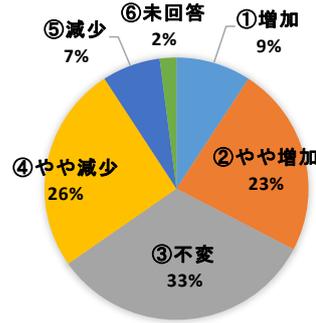
農業		
9月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	100.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和4年7月～9月)と(令和4年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①増加	9	9.2%
②やや増加	23	23.5%
③不変	32	32.7%
④やや減少	25	25.5%
⑤減少	7	7.1%
⑥未回答	2	2.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
10～12月	件数	構成比
①増加	2	12.5%
②やや増加	0	0.0%
③不変	8	50.0%
④やや減少	6	37.5%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①増加	3	25.0%
②やや増加	3	25.0%
③不変	4	33.3%
④やや減少	1	8.3%
⑤減少	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	4	80.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	1	20.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	4	18.2%
③不変	7	31.8%
④やや減少	8	36.4%
⑤減少	3	13.6%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	4	36.4%
③不変	5	45.5%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①増加	2	18.2%
②やや増加	3	27.3%
③不変	0	0.0%
④やや減少	4	36.4%
⑤減少	1	9.1%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①増加	1	5.0%
②やや増加	5	25.0%
③不変	8	40.0%
④やや減少	5	25.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	1	5.0%
総計	20	100.0%

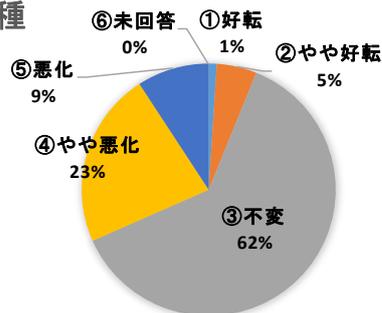
農業		
10～12月	件数	構成比
①増加	1	100.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和4年7月～9月)と(令和4年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	5	5.1%
③不変	61	62.2%
④やや悪化	22	22.4%
⑤悪化	9	9.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	11	68.8%
④やや悪化	4	25.0%
⑤悪化	1	6.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	8.3%
③不変	8	66.7%
④やや悪化	1	8.3%
⑤悪化	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	4	80.0%
④やや悪化	1	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	11	50.0%
④やや悪化	9	40.9%
⑤悪化	2	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	9.1%
③不変	8	72.7%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	4	36.4%
④やや悪化	3	27.3%
⑤悪化	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①好転	1	5.0%
②やや好転	1	5.0%
③不変	14	70.0%
④やや悪化	4	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

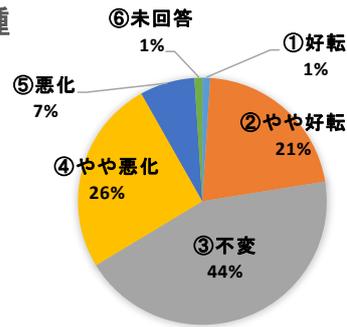
7.今後の見通し(業況判断)

(令和4年7月～9月)と(令和4年10月～12月)の比較

全業種

10～12月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	21	21.4%
③不変	43	43.9%
④やや悪化	25	25.5%
⑤悪化	7	7.1%
⑥未回答	1	1.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	12.5%
③不変	9	56.3%
④やや悪化	5	31.3%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①好転	1	8.3%
②やや好転	4	33.3%
③不変	3	25.0%
④やや悪化	2	16.7%
⑤悪化	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	60.0%
③不変	1	20.0%
④やや悪化	1	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	13.6%
③不変	8	36.4%
④やや悪化	9	40.9%
⑤悪化	2	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	7	63.6%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	2	18.2%
④やや悪化	5	45.5%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	4	20.0%
③不変	13	65.0%
④やや悪化	3	15.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

②中小企業景況感 (DI は、増加(上昇、好転) 企業割合から減少(低下、悪化) 企業割合を差し引いた値を示します。)
製造業

原材料の高騰などを背景として3DIとも悪化した製造業

2022年7～9月期の製造業の主要3DIは、売上(加工)額DIはマイナス4.0(前期比0.8ポイント低下)、採算(経常利益)DIはマイナス30.4(同4.8ポイント低下)、資金繰りDIはマイナス15.6(同2.7ポイント低下)といずれも前期から悪化した。DIを1年前の同時期と比較すると、売上は8.6ポイント上回るものの、資金繰りは0.5ポイントとわずかに低下、採算も7.2ポイント下回って推移している。

DIの内訳をみると、3DI全てで当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は低下している(売上1.9ポイント、採算3.4ポイント、資金繰り1.3ポイント)一方で、「減少・低下・悪化」したという回答が増加したのは採算と資金繰りの2つ(採算1.4ポイント、資金繰り1.4ポイント)で、売上は悪化したという回答割合も1.1ポイント減っていた。また、1年前の水準と比べると、売上額DIは改善したという割合が1.1ポイント多く、悪化したという割合は7.5ポイント少ないことがわかる。

DIを業種別にみると前回より改善している業種も多く、売上額は全17業種中11、採算は5、資金繰りは8の業種で対前期から改善を示した。このうち主要3DI全てが対前期プラスとなった業種は「パルプ・紙・紙加工品製造業」「化学工業」「プラスチック製品製造業」「輸送用機械器具製造業」の4つで、2桁ポイントの改善を示す業種もある。また、DIの改善に伴い水準自体がプラスとなる業種も引き続き存在し、売上高DIの水準は前回は上回る8業種でプラスとなった。一方、4業種では3DI全てが対前期マイナスとなり、業種間の景況にはバラつきがあることが示されている。

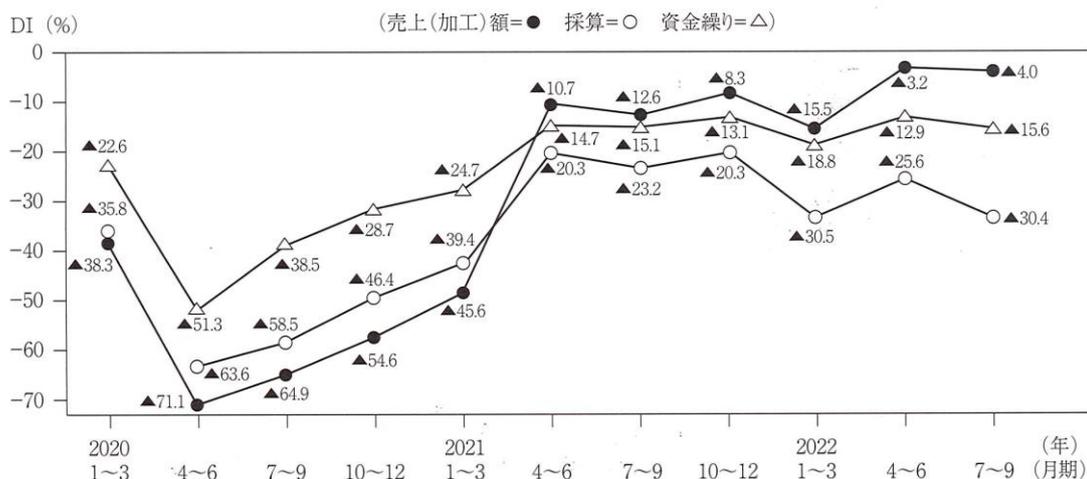
地域別では多くが前期と比べると悪化した。が、「北海道」のみは主要3DI全てが対前期で改善しており(売上16.4ポイント、採算14.6ポイント、採算8.0ポイント上昇)、売上と採算は2桁ポイントの改善幅となった。しかしその他で改善した地域は「関東」「四国」の売上(それぞれ4.2ポイント、0.9ポイント上昇)、さらに「近畿」の資金繰りがわずかながら上昇した(0.3ポイント)のみである。また、前回は3地域の売上額DIがプラスの水準に回復していたが、今回はこのうち「中国」のみが引き続きプラスを維持するに留まった(3.4)。

人口規模別のDIもほとんどが対前期マイナスで、改善したのは「人口1万人～3万人未満の地区」の売上のみであった(対前期1.2ポイント上昇)。一方、従業員規模別でみると全7区分のうち売上が4つ、採算と資金繰りは1つの区分で改善している。また、売上額DIは「11人～20人以下」「21人～50人以下」「51人～100人以下」「101人以上」の規模の大きい4つの区分において水準自体がプラスを維持していた(それぞれ3.1、11.1、24.1、30.0)。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは4期連続で「原材料価格の上昇」で、その割合は44.0%と対前期1.7ポイント増加しており、引き続き4割を超える経営者が一番の問題点として指摘する結果となっている。2位は「需要の停滞」で、前回からは0.8ポイント増加し15.0%、3位は「生産設備の不足・老朽化」7.9%(同0.7ポイント低下)、4位「従業員の確保難」7.5%(同0.4ポイント増加)と前回同様の項目が続く。また、順位はまだ低いものの「人件費の増加」「原材料費・人件費以外の経費の増加」を指摘する割合がそれぞれ0.7ポイント増と他の項目と比べると増えており、製造業におけるコスト面の不安が大きくなっていることがわかる。

1. 主要3項目の動き

〈図2-1〉主要景況項目の推移 一前年同期比一



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	12.3	0.8			4.9	▲2.7		
前年比	7.5	8.6			▲5.3	▲0.5		

建設業

コスト増の懸念はあるが、前期から改善した建設業

2022年7～9月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス12.7（前期比6.3ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス31.8（同4.1ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス7.9（同4.7ポイント上昇）といずれも改善する結果となった。1年前の水準と比較すると、完成工事は5.3ポイント、資金繰り2.1ポイント前年同期を上回っているが、採算だけは5.6ポイント低下していることがわかる。

DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は3DI全てで上昇しており（完成工事2.4ポイント、採算0.9ポイント、資金繰り1.4ポイント）、「減少・低下・悪化」したという回答は低下している（完成工事3.9ポイント、採算3.2ポイント、資金繰り3.3ポイント）。また、完成工事額DIの来期の見通しはそれほど大幅な改善ではないものの、過去1年間と比較すると一番良い見通しとなっている。

業種別DIをみると多くがプラスに改善しており、売上額、資金繰りは全ての業種で上昇した。対前期でマイナスとなったのは「設備工事業」の採算（1.1ポイント低下）のみだが、設備工事業が占める割合は全体の2割弱であり、全体に与える影響は限定的であった。

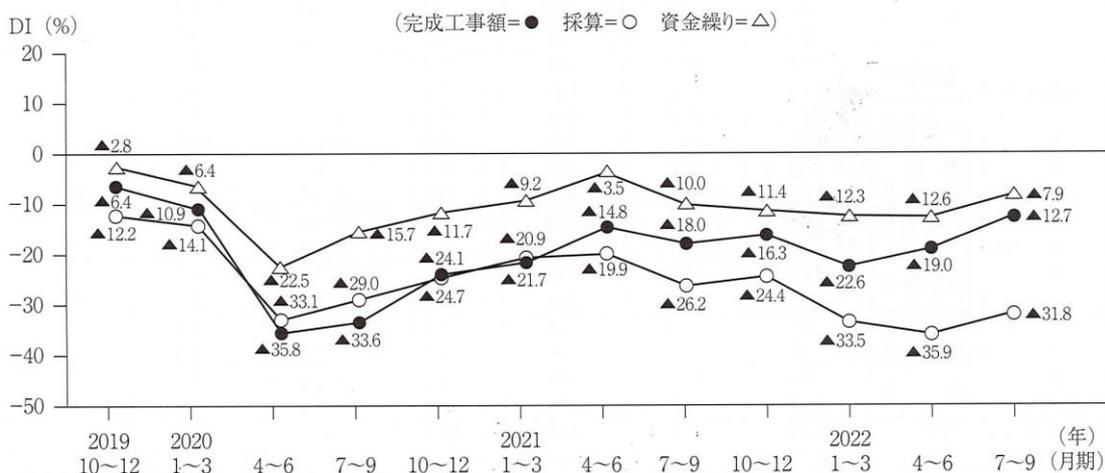
地域別では売上額DIが全8地域中5地域、採算が7地域、資金繰りが5地域と多くの区分で改善した。中でも売上は「近畿」（対前期13.2ポイント上昇）、「四国」（同15.7ポイント上昇）で2桁の改善幅を示している。また、「東北」（売上8.0ポイント、採算0.9ポイント、資金繰り12.8ポイント上昇）および「近畿」（売上13.2ポイント、採算5.2ポイント、資金繰り6.3ポイント上昇）は主要3DIが全て改善している。

人口規模別は一番小さい「人口一万人未満の地区」の売上額と採算が対前期で低下（売上採算0.8ポイント、採算3.0ポイント低下）した以外、残りの地区では全てのDIがプラスに改善した。一方、従業員規模別においては比較的規模の小さい区分でDIが改善の傾向を示しており、「2人以下」（売上15.2ポイント、採算4.8ポイント、資金繰り8.7ポイント上昇）、「3人～5人以下」（売上3.2ポイント、採算3.6ポイント、資金繰り1.6ポイント上昇）は主要3DI全てが改善を示した。

経営上の問題点の推移をみると、第1位は6期連続で「材料価格の上昇」が挙げられており、前期から1.5ポイント増加して49.1%となり、指摘する経営者の割合がほぼ5割に達するレベルまで増加している。続く2位は前回同様「従業員の確保難」が13.2%とこちらも0.9ポイント増加した。3位は「民間需要の停滞」が0.3ポイント増加、4位「官公需要の停滞」は0.9ポイント減少し順位が入れ替わっているが、指摘する割合はそれぞれ7.1%、6.8%とほぼ同じ水準で推移している。

1. 主要3項目の動き

（図3-1）主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	3.6	6.3			▲2.4	4.1		
前年比	▲4.2	5.3			▲16.0	▲5.6		

小売業

採算、資金繰りを中心に前期から改善した小売業

2022年7～9月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス20.9（前期比0.7ポイント低下）、採算DIはマイナス38.7（同1.3ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス23.3（同1.0ポイント上昇）となった。前回2桁幅の大きな改善を示した売上額DIはわずかに低下したものの、その他の採算、資金繰りの2つは前回より改善している。水準を1年前と比較すると、売上は22.0ポイント、採算は5.3ポイント、資金繰りは4.7ポイント、特に売上は2桁ポイント上回って推移している。

DIの内訳をみると、売上額は当期が前年より「増加・上昇・好転」という回答の割合が低下し、「減少・低下・悪化」という回答が増加したが、それぞれ0.5ポイント、0.2ポイントとほぼ横ばいの水準に留まる。また、他の2DIは「減少・低下・悪化」という割合が低下する（採算1.4ポイント、資金繰り0.8ポイント）一方で、「増加・上昇・好転」の割合はほぼ横ばいとなった（採算0.1ポイント低下、資金繰り0.2増加）。また、主要3DIとも来期は悪化すると見込んでおり、見通しは決して明るいものではない。

業種別にみたDIは多くが改善しており、全6業種のうち売上額は3業種、採算と資金繰りは4業種で対前期プラスとなっている。また、主要3DI全てが対前期で改善した業種は「各種商品小売業」「飲食品小売業」「家具・建具・じゅう器小売業」の3業種に上る。一方で、全体の3割を占める「その他小売業」の売上額は対前期で10.0ポイントと大きく悪化しており、それが全体の売上額DIを低下させる要因にもなっている。

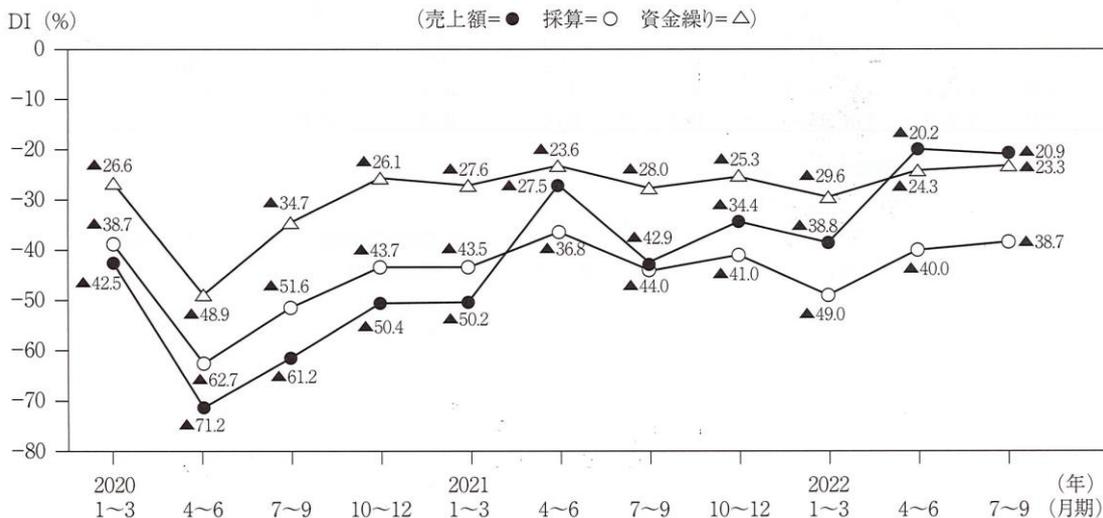
全体では対前期で悪化した売上高DIも、地域別でみると全8地域中4地域では改善の傾向を示している。さらに採算は5地域、資金繰りは6と過半数を超える地域でDIが改善しているが、このうち「北海道」は3DI全てが対前期で上昇していることがわかる（売上24ポイント、採算12.6ポイント、資金繰り0.3ポイント上昇）。

人口規模別も多くは前期よりもDIが上昇したが、規模別の明確な傾向などはみられない。対前期で悪化したのは「人口一万人～三万人未満の地区」の売上および資金繰り、そして一番大きい区分「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」の採算だけだった。また、従業員規模別では半分程度のDIが改善しているが、こちらも規模別の傾向などはみられない。ただし一番規模の大きい「21人以上」の主要3DIは全て上昇しており、中でも売上（対前期37.5ポイント上昇）、採算（同18.8ポイント）は2桁の改善幅を示した。

経営上の問題点として指摘される割合は2期連続で「仕入単価の上昇」が1位となったが、割合は4.9ポイント増加して31.9%となり、3割を超える経営者から指摘される結果となった。2位は「需要の停滞」だが、指摘される割合は0.8ポイント減少し14.6%に留まった。3位は「消費者ニーズの変化」10.8%（同0.5ポイント減少）、4位は「購買力の他地域への流出」10.0%（対前期1.9ポイント減少）で、前回とは順位が入れ替わったが両者の指摘される割合に大差はない。また、今回は「人件費の増加」（対前期0.8ポイント増加）や「人件費以外の経費の増加」（同0.7ポイント増加）が他の項目と比較すると増えており、小売業におけるコスト問題が引き続き懸念されていることがわかる。

1. 主要3項目の動き

（図4-1）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	18.6	▲0.7			9.0	1.3		
前年比	7.3	22.0			▲3.2	5.3		

サービス業

前回の反動もあり、主要3DIが悪化したサービス業

2022年7～9月期のサービス業の主要3DIは、売上（収入）額DIはマイナス7.9（前期比1.9ポイント低下）、採算（経常利益）DIはマイナス35.9（同3.7ポイント低下）、資金繰りDIはマイナス18.6（同3.4ポイント低下）となった。前回全てのDIは2桁ポイントの幅で大きく改善したが、今回は主要3DIともに前期より悪化した。ただし、これを1年前の水準と比較すると、売上は33.4ポイント、採算は5.9ポイント、資金繰りは10.8ポイントといずれも高く、特に売上の改善幅は依然として大きい。

DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が低下し（売上0.4ポイント、採算1.2ポイント、資金繰り0.4ポイント）、「減少・低下・悪化」したという回答が増加（売上1.5ポイント、採算2.5ポイント、資金繰り3.0ポイント）しているが、いずれもそれほど大幅には変動していない。ただし、来期見通しは特に売上で厳しく、将来に対する不透明な状況は続いている。

業種別の主要3DIは分野によって差があり、「宿泊業」（対前期、売上額1.3、採算0.4、資金繰り1.2ポイントそれぞれ上昇）、「運送業」（同、売上額6.3、採算8.4、資金繰り4.1ポイントそれぞれ上昇）の2つは主要3DI全てが改善する一方で、その他の業種はほぼ全てのDIが対前期で低下している。また、前回に引き続き「飲食店（一般・遊興）」「宿泊業」の売上額DIの水準はプラスを保っている（それぞれ3.0、30.9）。

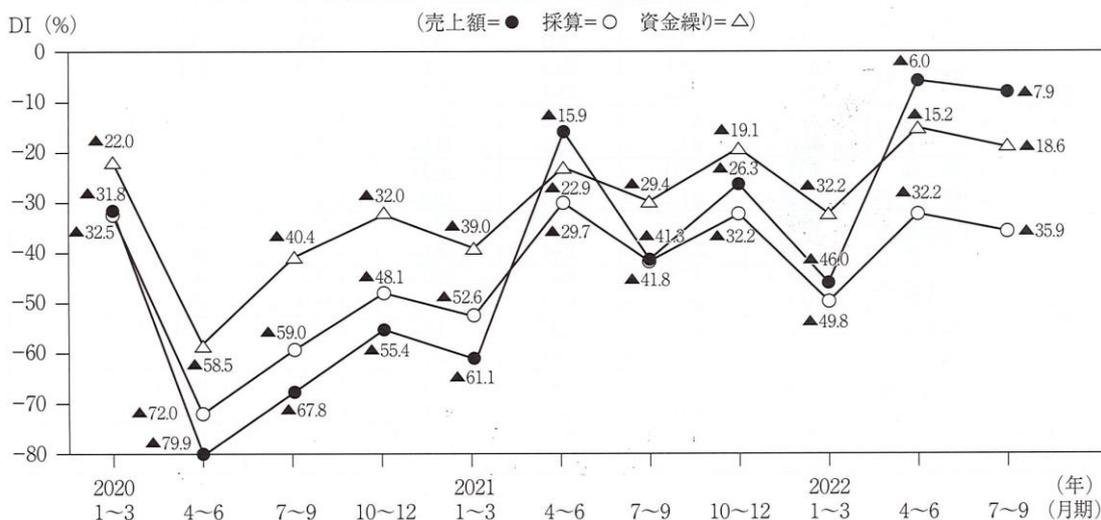
地域別は主要3DIともにいくつかの地域で改善をしているものの、その数は全8地域のうちそれぞれ2地域のみに留まる。このうち「北海道」だけは主要3DI全てが対前期で改善しており、売上と採算は改善幅が2桁に届く（売上12.6ポイント、採算11.7ポイント、資金繰り4.3ポイント上昇）。また、DIを水準でみると「関東」の売上額DIだけはわずかながらプラスの水準にまで回復していることがわかる。

また、人口規模別はほぼ全ての区分でDIが前期より低下しており、唯一改善したのは一番大きい区分「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」の売上のみだった（対前期0.9ポイント上昇）。一方、従業員規模別でみた場合は規模が大きい区分での改善傾向がみられ、一番大きい「21人以上」では主要3DI全てでDIが上昇していた（売上3.7ポイント、採算17.0ポイント、資金繰り19.2ポイント上昇）。この結果、水準でみたDIも規模の大きい区分で高くなり、「11人～20人以下」の売上（20.9）、「21人以上」の売上と資金繰り（29.2、2.1）はプラスで推移している。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘される割合が一番多かったのは前回同様「材料等仕入単価の上昇」で、指摘される割合は1.3ポイント増加し30.6%と3割を超えている。2位は「需要の停滞」で前回よりわずかに0.3ポイント減少し、18.2%、3位以下も前回同様の順位で「利用者ニーズの変化」11.7%（0.7ポイント減少）、4位「店舗施設の狭隘・老朽化」7.0%（1.1ポイント減少）と続き、今回は同率の4位に「人件費以外の経費の増加」0.7ポイント増加も入る結果となった。まだ順位は低いものの今回は8位の「人件費の増加」も0.8ポイントと他の項目と比べて増加しており、コストに関する懸念が大きくなっていることがうかがえる。

1. 主要3項目の動き

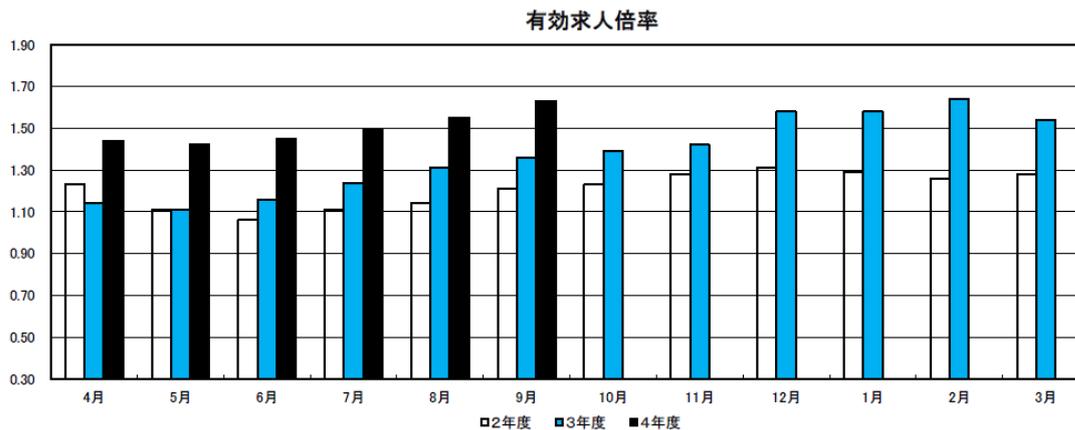
〈図5-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	40.0	▲1.9			17.6	3.7		
前年比	9.9	33.4			▲2.5	5.9		

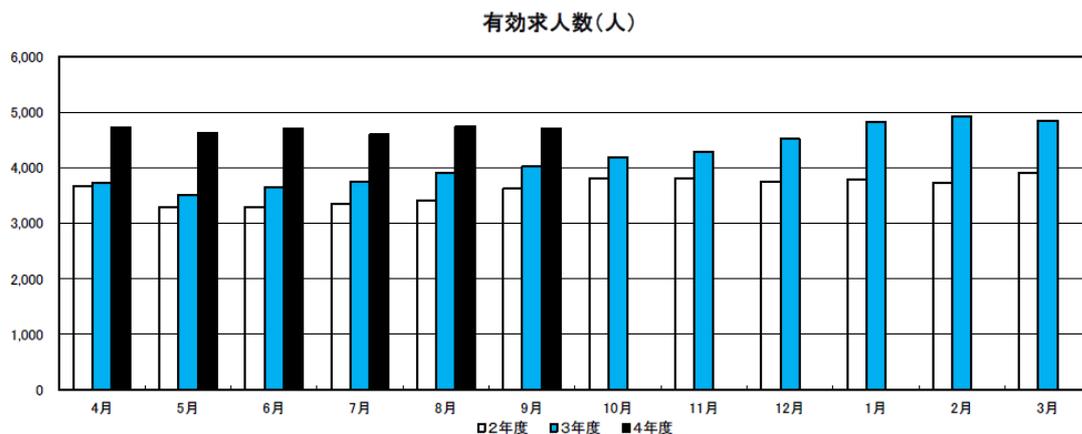
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2022年4-6月期」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63							1.50
対前月(増減)	-0.10	△0.02	+0.03	+0.04	+0.06	+0.08							—
対前年(増減)	+0.30	+0.31	+0.29	+0.25	+0.24	+0.27							—

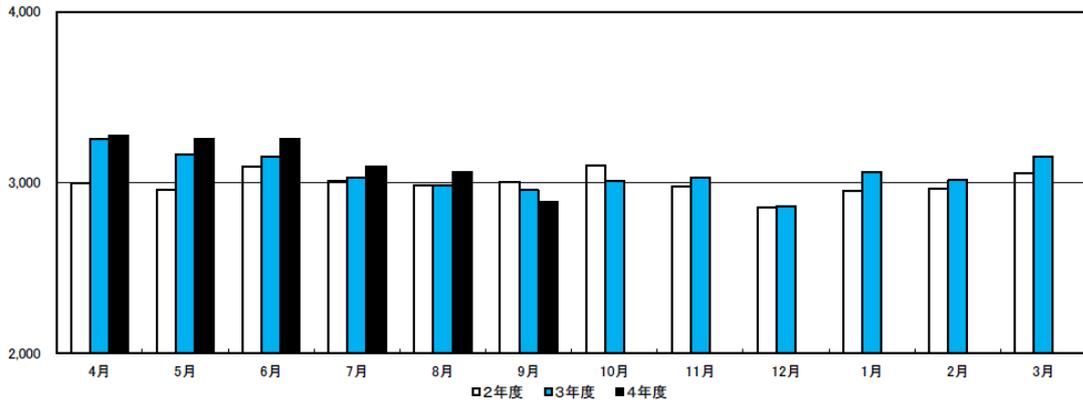
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713							4,688
前月比(%)	△2.56	△1.99	+1.64	△2.42	+3.22	△0.65							—
前年同月比(%)	+27.03	+31.72	+28.79	+22.85	+21.30	+17.06							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

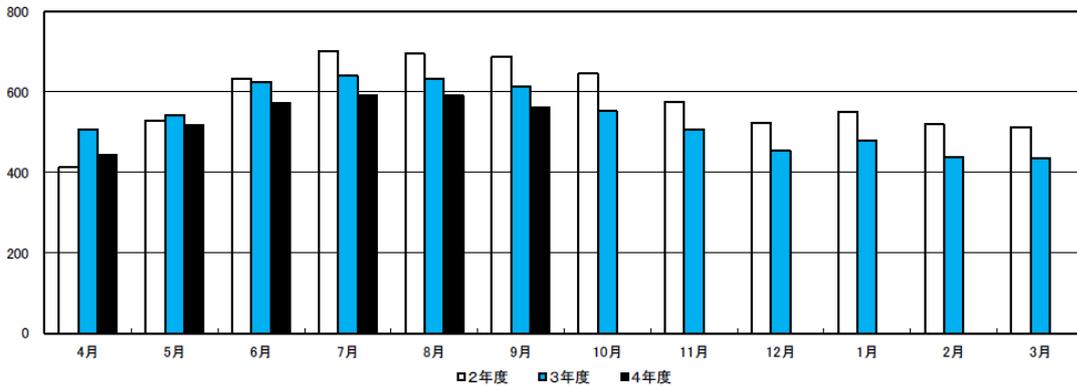
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886							3,138
前月比(%)	+4.00	△0.76	+0.12	△5.01	△1.03	△5.72							—
前年同月比(%)	+0.64	+2.85	+3.23	+2.11	+2.65	△2.30							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572	591	591	563							546
前月比(%)	+1.84	+16.70	+10.64	+3.32	0.00	△4.74							—
前年同月比(%)	△12.62	△4.61	△8.33	△7.66	△6.78	△8.46							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

④業種別業況判断

主要業種の概況

旅客運送業	景況感はさほど良くない。ゴールデンウィークは県民割の利用客があり増便したが、まだコロナが大きく影響しており、特急バスの利用客数はコロナ前の60%程度である。年間200万リットル使用している軽油の価格高騰(令和3年5月から20%上昇)により、売上高・利益へ前期比20%下降の影響がある。運賃へ価格転嫁できない。整備において自動車部品の不足は業況へマイナスの影響がある。
その他製造業	景況感はさほど良くない。コロナ禍のみが直接の要因ではないが、7月から9月の全体売上は前年度比で5%程度減少する見通し。ダイヤモンドやステンレスの価格高騰により、今期決算時点で売上高と収益が10%から15%程度下降すると見ている。雇用面では、地元中心の採用が特徴。情報漏洩を防ぐため、派遣社員は採用していない。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年7月)」より

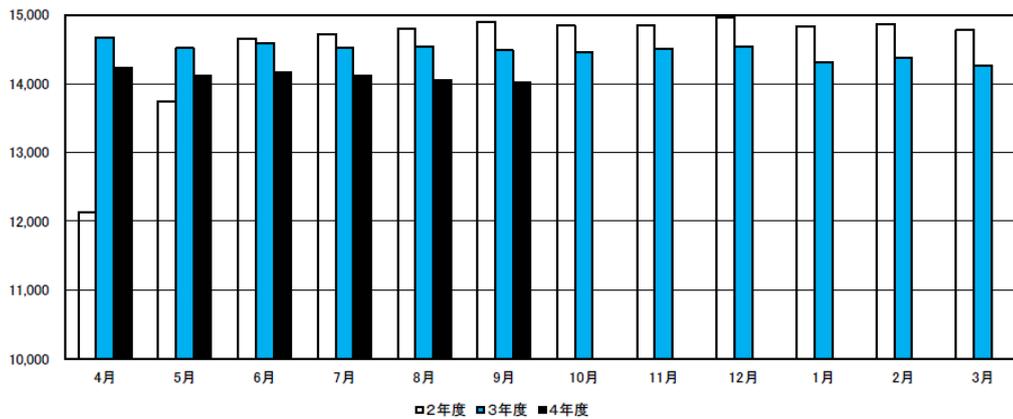
銀行業	景況感は当行、取引先及び管内企業ともさほど良くない。製造業の一部、観光関連に回復が見られる。事業向け融資状況の7～9月の見通しは前年同期比、融資件数、金額とも20%増加。新型コロナウイルス対策における制度融資(ゼロゼロ融資)が終わり、落ち込んでいたが、運転資金が若干増加した。女性職員の離職防止のため、育児休暇、短縮時間勤務等、働き方改革の推進に向けた取組を行っている。
金属製品製造業	景況感はさほど良くないが、前期(4～6月)と比較して、7～9月の売上高は10%増加、利益は4%増加を見込む。原材料のアルミ、銅の高騰により、前期決算、今期決算の予想とも売上高への影響はないが、収益は5%下降。一部を価格転嫁しているが、全体としては交渉中で秋頃を予定している。働き方改革の推進として、有給休暇取得率全社員50%以上を目標とする。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年8月)」より

印刷・同関連業	景況感は悪い。アクリル事業等、印刷業の関連事業に力を入れる。また、YouTube動画を自社で作成する等、印刷業以外の分野開拓も試みている。4月に女性初の課長就任が実現する等、働き方改革の推進に向けて積極的に取り組んでいる。今年度は高卒区分と中途採用のみを新規採用していたが、来年度から大卒区分も募集を再開する。中途採用では、即戦力となる、同じ職種から転職する人材を求めている。
宿泊業	景況感はどちらとも言えない。7～9月の全体の売上は前年度同期比で20%増加。行動制限がなかったことで客足が若干戻った。半導体不足で、館内設備の修理が間に合わず、一部施設の営業を休止した。原材料価格高騰の対策もしているが、今年も蟹の価格が高騰すれば宿泊プランの値上げを実施する予定。ゼロゼロ融資の返済が始まったが、地域全体を見ても消費需要は回復したとはいい切れず、返済時期を延期してもらいたい。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和4年9月)」より

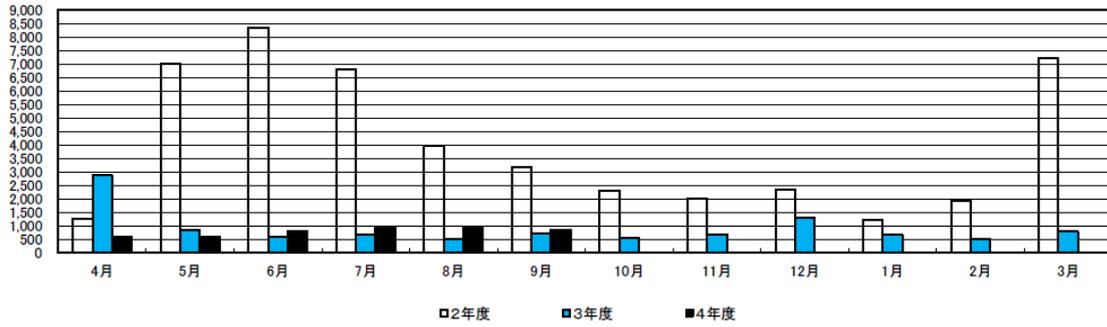
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027							14,117
前月比(%)	△0.19	△0.87	+0.38	△0.28	△0.47	△0.20							—
前年同月比(%)	△3.01	△2.80	△2.93	△2.77	△3.32	△3.18							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

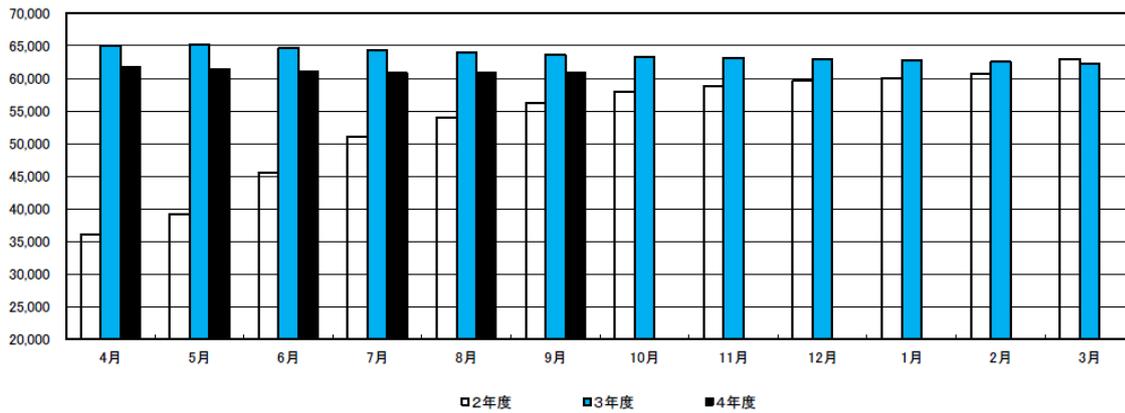
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792	988	930	865							797
前月比(%)	△23.78	△2.30	+33.11	+24.75	△5.87	△6.99							—
前年同月比(%)	△78.81	△30.97	+34.69	+43.19	+74.48	+20.81							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

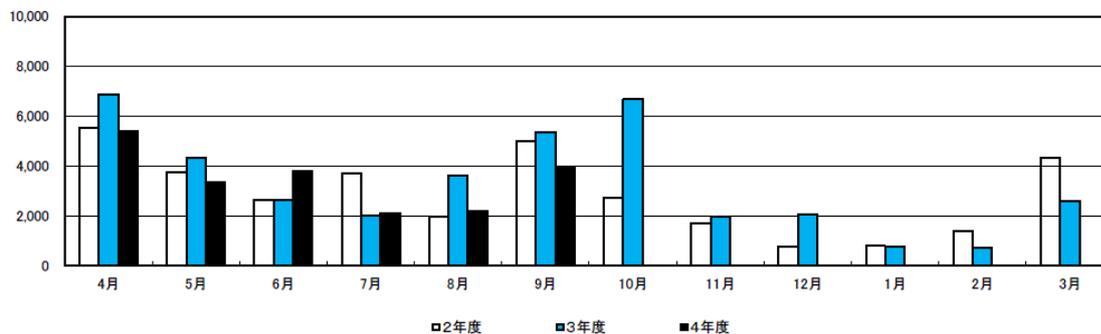


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810							61,123
前月比(%)	△0.70	△0.56	△0.69	△0.36	+0.24	△0.19							—
前年同月比(%)	△5.10	△5.87	△5.56	△5.51	△4.65	△4.35							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

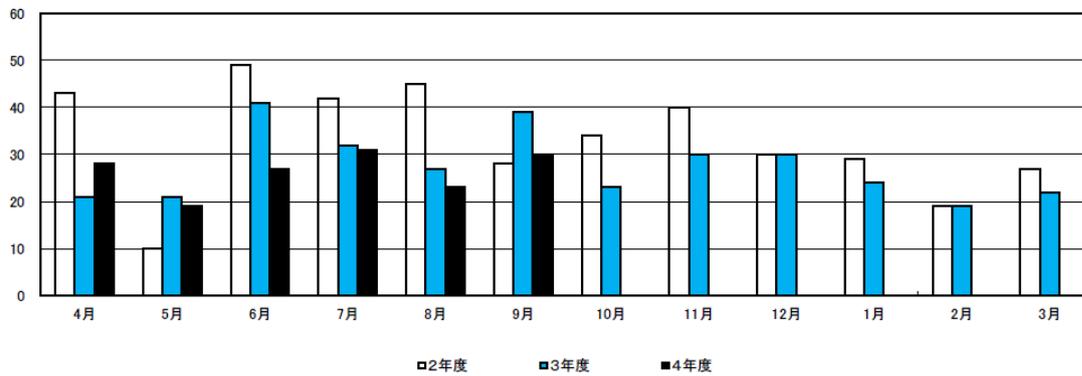


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933							3,471
前月比(%)	+106.87	△37.78	+13.08	△44.73	+3.70	+80.00							—
前年同月比(%)	△21.33	△22.49	+44.28	+4.93	△39.91	△26.81							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27	31	23	30							158

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)